

Notice

幼児教育サポート講師と放課後学習サポート講師を紹介します

4月1日から幼児教育をサポートする講師を新たに任用し「幼児教育サポート事業」を実施しています。幼児教育サポート事業は、幼児期の早い段階から「ひらがなの読み」や「数と計算」などの定着を図るものです。また、2019年から小学校および義務教育学校で行っている「放課後学習サポート事業」は、1年ずつ対象年齢を拡大し、今年度は4年生までを対象として取り組んでいます。今月号では、新たに講師となられた方々を紹介します。なお、これまで茶路小学校に勤務していた佐藤公生さんは、4月から白糠小学校で勤務しています。

幼児教育サポート講師

いのつめ ま お
猪爪 真央さん

これまで庶路学園で放課後学習サポートの講師を務めていました。これからは幼児教育サポート講師として、頑張りますので皆さんよろしくお祈いします。



放課後学習サポート講師

ふくやま かずしげ
福山 一重さん

茶路小学校に勤務しています。34年間、学習塾あすなろ会で数学科の講師を務めていました。子どもが好きなので、一緒に楽しくやっ行って行こうと思います。



放課後学習サポート講師

いいだ しゅうじ
飯田 修司さん

庶路学園に勤務しています。38年間、学習塾あすなろ会で社会科の講師を務め3月末で定年退職しました。趣味は卓球です。皆さんよろしくお祈いします。



Notice

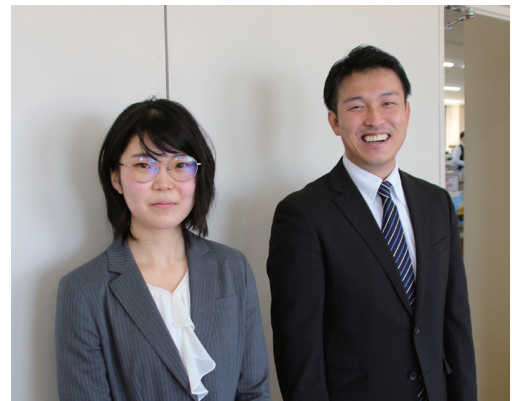
町内での就農を目指す野中さんと矢部さんが着任

4月1日、農業に従事する地域おこし協力隊として、大阪府池田市出身の野中優衣さんと、地域活性化支援員（農業支援員）として十勝管内幕別町出身の矢部公輝さんが着任しました。

野中さんと矢部さんは、新規就農先を求めて、昨年8月に札幌市で開催された北海道新規就農フェアに参加。本町の新規就農者への支援制度や日照時間の長さ、気温などを知り、魅力を感じたことから就農先を選びました。

野中さんはまず、10月上旬まで滝川市の「花・野菜技術センター」で研修を受けます。矢部さんは、町内の農家で研修を積みながら就農を目指します。

野中さんは「白糠町に戻ってきたときに生かせるよう、研修でしっかり学んでいきます」。矢部さんは「ナガイモやトマト、アスパラなどができるかを見極めながら、2、3年後に就農できるよう頑張ります」と意気込みを語ってくれました。



新規就農を目指す野中さん（左）と矢部さん